

Nursing care process for releasing psychiatric inpatients from long-term seclusion in Japan: Modified grounded theory approach

著者	長山 豊
著者別表示	Nagayama Yutaka
journal or publication title	博士論文要旨Abstractおよび要約Outline
学位授与番号	13301甲第3935号
学位名	博士（保健学）
学位授与年月日	2013-09-26
URL	http://hdl.handle.net/2297/37212

doi: 10.1111/nhs.12094



平成 25年 8月 20日

博士論文審査結果報告書

報告番号 _____

学籍番号 0927022019 _____

氏 名 長山 豊 _____

論文審査員

主 査 (職名) 北岡 和代 (教授)

副 査 (職名) 島田 啓子 (教授)

副 査 (職名) 表 志津子 (教授)



論文題名 Nursing care process for releasing psychiatric inpatients from long-term seclusion in Japan:

Modified grounded theory approach

論文審査結果

【論文内容の要旨】

博士前期課程では、精神科急性期病棟における隔離・身体拘束の看護介入プロセスを研究した。その連続性の下、慢性期病棟で長期に隔離されている患者に対して行っている看護経験が豊富な看護師の援助技術を明確化することにより、長期隔離患者を解除へ導く臨床で応用可能な看護援助モデルを提示することを博士後期課程における研究とした。すなわち、長期に隔離されている患者に対して行っている隔離の解除へ導く看護師の看護援助を明らかにすることを研究目的とした。

木下の修正版グランデッド・セオリー・アプローチを用いた。看護師 18 名に参加観察及び半構造化面接を実施した。分析テーマを「隔離解除へ導く看護援助プロセス」に設定し、継続的比較分析法により概念・カテゴリー化を行い、概念とカテゴリーの関係性について結果図を作成した。分析の結果、15 の概念に基づく 4 つのカテゴリーを抽出した。コアカテゴリーとして「ケアの割合を柔軟に分配できる成熟した治療的環境」を特定した。この治療的環境において、看護師は「心身疲弊からの回避的援助」、「患者を不利益にさせない援助の基準化」、「問題行動に至らせない即時即応」の 3 つのケアを患者の状態に応じて柔軟な割合で分配し、患者の刺激耐性を強化して病状の安定化に導き、隔離解除の可能性を模索していた。以上の結果より、長期に隔離されている精神疾患患者を隔離解除に導くための看護援助プロセスには、心身の疲弊を回避する援助、援助の基準化、即時即応する援助の 3 つの看護援助を柔軟に分配する治療的環境が存在していることを明らかとした。

【審査結果の要旨】

日本の精神科病院における患者隔離件数と期間は、諸外国に比して極めて高い状況を抱えており、この状況を打破するための研究も進んでいない。本研究は看護師の経験知をひも解き、臨床で応用可能な看護援助モデルを提示したものであり、学術的に意義があると評価できる。本研究により、長期に隔離されている精神科患者を隔離解除するための看護援助モデルが提示され、このモデルは看護師のみならず、患者に対する貢献ともなることが期待できる。公開審査では、博士前期課程での研究と本研究との繋がり、目的と方法、対象、カテゴリー名、結果図、今後の方向性等について質疑され、いずれも適切な応答がなされた。

以上、学位請求者は本論文の論文審査及び最終試験の状況に基づき、博士（保健学）の学位を授与するに値すると評価する。